

基本方針 1. 基本サービスの充実を図ります。

施策（1）利用者ニーズへの対応

取り組み内容		令和5年度取り組み状況及び課題等	自己評価
ア	利用者ニーズに応える資料等の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する市民からの要望に応えられるよう、図書や視聴覚資料など幅広く収集、整理、保管に努めた。 ・人気作、書評で紹介された図書など、リクエストの多い作品も積極的な提供に努めた。 リクエスト貸出数 購入 276点 相互貸借 1,079点 所蔵 18,515点 合計 19,870点	A
イ	地域資料及び甲府市出身者などの資料収集	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府市をはじめ、山梨県に所縁の深い資料の収集と提供に努めた。 	A
ウ	情報サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページや図書館システムなど、現状の情報サービスを活用するなかで、情報収集等の環境整備に努めた。 ・月毎に様々な話題を取り上げたテーマ別資料の展示等に努めた。 	A
エ	専門職としてのスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的なサービスを実施するために必要な、資質・能力の維持、向上を図るため、研修、講習会等へ参加を行った。 図書館職員専門研修他 23回 106人（延べ人数）	A

施策（2）広域サービスの充実

取り組み内容		令和5年度取り組み状況及び課題等	自己評価
ア	公民館図書室の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ネットワークの接続館（北・西・南・中道公民館）図書室においては、ネットワークを活用した本の予約受取を行うとともに、北・西公民館図書室には司書を定期的に派遣するなど、本館から離れた地域に住む利用者の利便性の向上に取り組んだ。 ・令和5年度は、市立図書館内照明設備LED化工事に伴う臨時休館中に、ネットワークの接続館及び未接続館（東・北東・南西・遊亀公民館）図書室の整理を行い、また、遊亀・北東・東公民館図書室へは本館資料の一部移管を行い、所蔵の充実を図った。 移管冊数 遊亀公民館 121冊 北東公民館 191冊 東公民館 218冊 【課題】北・西公民館への司書派遣回数及び北・西公民館以外への司書の派遣	B

イ	なでしこ号の活用	・遠隔地に居住するなど図書館に直接来館できない市民のために、市内33か所を巡回し、資料の提供に努めた。 【課題】 駐車場所のスペース確保、移動図書館車の老朽化	B
---	----------	--	---

施策（3）アクセシビリティの向上

取り組み内容		令和5年度取り組み状況及び課題等	自己評価
ア	合理的配慮	・本を読むのが苦手な方に、わかりやすい表現で書かれたLLブックを用意するとともに、拡大鏡を館内に設置するなど、可能な合理的配慮に努めた。 ・電子書籍において、文字拡大や読み上げ機能により読書を楽しんでいただける環境整備に努めた。	A
イ	専門資料の整備	・視覚障がい者には、点字本や大活字、朗読CDなど、聴覚障がい者には、字幕入りDVDなど、専門資料の充実に取り組んだ。 ・電子書籍においては、資料の閲覧・視聴に困難を抱える方向けの資料の充実を図った。	A

施策（4）利用教育の推進

取り組み内容		令和5年度取り組み状況及び課題等	自己評価
ア	積極的な情報発信	・イベント情報の周知や資料の検索や予約など、図書館の利用促進のためホームページの充実を図った。また、facebookの更新を図り、情報発信に努めた。 (更新回数：76回) ・甲府市公式YouTubeにおいて、児童向け動画の配信を行い、図書館ホームページからも視聴できるように紐づけを行った。	A
イ	情報リテラシーの向上	・ネットワークを活用した本の貸出や、司書教諭・学校司書との情報交換を行い、学校及び学校図書館と連携を図った。 ・市内小中学校の児童・生徒等が電子書籍サービスを利用できるように連携を図った。 ・情報活用に役立てるパスファインダーを作成し、展示スペースでの周知に努めた。(作成数：10種類)	A

評価基準

S	計画以上の取組を行い、大きな効果があった。
A	計画通り実施し、一定の成果があった。
B	概ね計画通りだが、不十分な点や課題が残っている。
C	実施しているが課題が多い。
D	実施できなかった。

令和5年度甲府市立図書館基本計画 評価シート

基本方針 2. 子どもの読書活動を推進します。

施策(1) 第三次子どもの読書活動推進計画の着実な推進

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	発達段階に応じたサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層に応じた図書の整備を行うとともに事業に取り組み、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後は利用制限の緩和を行い、子どもの読書活動の推進を図った。 ブックスタート(出生届提出時に絵本を贈呈) 読み聞かせ 12回 おはなしキャラバン 5回 	A
イ	読書意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・読書履歴を記載する「読書記録ノート」や、本を貸出したときに渡すジャーナルを貼付して記録する「マイブックメモリー」(ともに図書館ホームページからダウンロード可能)を作成しており、子どもたちが目で見える形で読書履歴を残すことができ、読書意欲の向上を図った。 「マイブックメモリー」配付数: 12冊 (※ホームページからダウンロードができること、すでに持っている子どもが多かったため配付数減。) ・甲府市公式YouTubeにおいて、世界の昔話などの絵本の紹介や夏休みスタンプラリーなどの動画配信を行い、読書量の増加に向けての動機付けを図った。 ・電子書籍において、子ども向けのコンテンツの選書を行い、子どもの読書意欲向上に繋がるよう整備を図った。 	A

施策(2) 子どもの居場所づくり

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	地域文庫の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・居住する地域で読書に親しむ環境を整えるために、ボランティア団体等の活動を支援し、地域文庫の活性化を図った。 ※6文庫中、団体貸出がある文庫は2文庫 【課題】少子化による利用者の減少、担い手の高齢化等 	B
イ	放課後児童クラブへの貸出等	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブを利用する子どもたちの読書機会を拡充するため、団体貸出を積極的に行なった。 5か所 1,703冊 ・除籍した絵本などを市の担当部署へ提供した。 	A

評価基準

S	計画以上の取組を行い、大きな効果があった。
A	計画通り実施し、一定の成果があった。
B	概ね計画通りだが、不十分な点や課題が残っている。
C	実施しているが課題が多い。
D	実施できなかった。

令和5年度甲府市立図書館基本計画 評価シート

基本方針 3. 社会教育施設の機能にコミットします。

施策（1）多様な学習機会の提供

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	高齢者の居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な動向を配慮しながら、高齢者の観点に立った図書資料の収集に努めた。 ・電子書籍において、特集の企画を組むなど気軽に本に親しんでもらえるよう環境を整備した。 ・大人の映画会・折り紙教室・朗読会等を行った。 	A

施策（2）ボランティア活動の促進

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	ボランティア等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをはじめとしたボランティアとの協働を深め、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後は利用制限の緩和を行うなかで、さまざまな団体の学習の成果を活用する機会の支援に努めた。 読み聞かせ活動 <ul style="list-style-type: none"> なでしこの会 15回 おはなし活動 <ul style="list-style-type: none"> ききみみずきんおはなしの会 16回 内田パパ 3回 折り紙教室 <ul style="list-style-type: none"> 甲府文庫連絡会 18回 	A

施策（3）地域の課題解決支援

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	テーマ別資料の収集・展示	<ul style="list-style-type: none"> ・月にさまざまな話題を取り上げたテーマ別資料の展示等に努めた。 （別紙1：館内展示一覧、別紙2レファレンス展示一覧）	A

評価基準

S	計画以上の取組を行い、大きな効果があった。
A	計画通り実施し、一定の成果があった。
B	概ね計画通りだが、不十分な点や課題が残っている。
C	実施しているが課題が多い。
D	実施できなかった。

令和5年度甲府市立図書館基本計画 評価シート

基本方針 4. 未来志向のサービスを構築します。

施策（1）デジタル情報資源の活用

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	オンライン・データベースの活用	・現在あるデータベースを活用し、レファレンスやカウンターでの端末により、利用者の相談などに対応し、サポートに努めた。	A

施策（2）資料の電子化

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	デジタルアーカイブ	・資料の電子化等の実現可能な方策について調査・研究を行った。 【課題】電子化に向けた予算の確保	D
イ	電子書籍	・新たに市内小中学校の児童・生徒及び教職員に利用者ID及びパスワードの付与を県内で初めて行った。また、市立小中学校以外の市内の小中学校についても連携に向けた周知を行い私立中学校1校が利用を開始した。 電子書籍タイトル総数 840タイトル（読み放題50点及び地域資料含む）	A

施策（3）先進技術の活用

取組み内容		令和5年度取組み状況及び課題等	自己評価
ア	情報媒体（ICカード等）	・マイナンバーカードの利用者カードとしての活用について調査・研究を行った。また、ICチップ等を活用したサービスについても調査・研究を行った。 【課題】導入方法、導入に向けた予算の確保	D
イ	通信技術（無線通信等）	・通信技術の可能性を調査・研究を行った。 【課題】導入方法、導入に向けた予算の確保	D

評価基準

S	計画以上の取組を行い、大きな効果があった。
A	計画通り実施し、一定の成果があった。
B	概ね計画通りだが、不十分な点や課題が残っている。
C	実施しているが課題が多い。
D	実施できなかった。